

資料収集・選書

事業の内容

東久留米市立図書館資料収集方針に基づき、市民の調査研究、読書、生活や仕事上の課題解決に役立つ資料を収集する。また、役割を終えた資料の除籍を行う。
東久留米市に関する資料を積極的に収集保存する。

平成 26 年度の目標

- ① 生活や仕事上の課題解決、学習、読書に役立つ図書館サービスに努める。
- ② 分野別の選定会などで幅広い選書を行い、各図書館で市民ニーズにこたえる資料提供を行う。
 - ・中央図書館は専門性を向上させ多角的な選書を行い、拠点館として資料の充実を図る。
 - ・地区館は地域に根ざした選定を行い、地区館ごとに特色ある蔵書構成を目指す。
- ③ 商用データベースや国会図書館デジタル化資料送信サービス、インターネットによる情報提供を開始する。
- ④ 東久留米市に関する資料の収集と保存を継続し、東久留米関連作家や作品、郷土史探訪に役立つ資料を収集する。

活動指標

受入資料数	図書購入	一般書	9, 3 0 4 冊 (25 実績 1 1, 7 7 6 冊)	
		児童書	3, 7 7 1 冊 (25 実績 4, 1 2 0 冊)	
	図書寄贈	一般書	2, 2 4 8 冊 (25 実績 2, 3 9 5 冊)	
		児童書	3 9 6 冊 (25 実績 5 8 3 冊)	
	視聴覚資料	C D	1 7 9 点 (25 実績 2 4 3 点)	
		D V D	1 2 点 (25 実績 3 8 点)	
除籍資料数	図書	一般書	6, 7 3 3 冊 (25 実績 1 6, 9 0 4 冊)	
		児童書	1, 3 8 0 冊 (25 実績 7, 6 3 7 冊)	
	視聴覚資料	C D	1 7 点 (25 実績 1, 0 1 3 点)	
		カセット	1 8 点 (25 実績 1, 1 2 9 点)	
		ビデオ	1 2 9 点 (25 実績 1 7 6 点)	
		D V D	5 点 (25 実績 1 6 点)	
		地域資料の受入 (図書の内数)		5 4 7 点 (25 実績 5 6 5 点)
選定会議の開催	一般書	毎週 1 回 (中央図書館司書による)		
	児童書	月 2 回 (全館から参加)		
	部門別選定 (4 グループ各 9 回～1 0 回実施、中央図書館)			

資料に対する利用者満足度（満足している利用者の割合）

中央図書館 66 % 地区館 62 %（3館平均）

新たな取り組みや特記すべき事業

（中央図書館）

- ① 選定会議を中央図書館司書による会議とし、中央図書館の部門別選定と地区館の選定、見計らい図書をあわせて一元化し、全館を通して総合的に判断する選定方式とした。
- ② 除籍や書庫での保存についても、部門別選定会を中心に検討を行った。
- ③ 部門別選定会では、各グループが目標を持ち、書架点検を行いながら、基本図書や新たな学術動向、社会の要請に配慮して各分野の充実を図った。資料的価値の高い資料や公立図書館として収集すべき資料等を中心に平成26年度は1,000冊を超える資料を選書した。
- ④ 子ども読書活動推進計画に基づく幼児用団体貸し出しパックの選書を行った。
- ⑤ 男女平等推進センターの蔵書のデータベース化を行った。今後の資料保存や活用で情報共有できるようになった。

（地区館）

- ① 平成26年度より各地区館は選書に於いて館毎に地域の特性に配慮し重点的に収集するテーマを定めて選書した。
 - ・滝山 高齢者に配慮し、医療情報を発信できるような収書
 - ・ひばりが丘 妊娠出産から未就学児を持つ子育て世代を対象に子育て関連本の収集
 - ・東部 高齢者福祉関連施設との複合館であることから、福祉・介護・老後をテーマにした資料を収集
- ② 利用の多い新刊図書は、3館で準新刊（新刊受け入れ後数か月の資料）をシャッフルし、資料の活性化を図った。
- ③ 除籍基準の共有化を図るため、経験の高い中央図書館の司書が地区館を訪問し、実地で除籍の判断基準を伝えた。

（テーマ展示）

図書や資料展示のテーマ展示は、全館で活発に行われた。書庫の本の活用や司書による選書で、来館者に対し幅広い読書や関心ある資料の提供を行うことができた。

図書館の自己評価

選書は図書館運営の要であり、市民ニーズを捉えてかつ、公立図書館として市民の付託を担うべき業務である。図書館全体の資料収集の公平性や専門性を一貫して継続的に行うため、中央図書館が最終的に地区館を含めた全館の選書を統括している。

中央図書館部門別選定会議は 2 年目となり、蔵書構成の分析や資料に対する理解が進み、各グループが目標を持ち、書架点検を行いながら、基本図書や新たな学術動向、社会の要請に配慮して各分野の充実が図れた。資料的価値の高い資料拠点館としての多角的な蔵書構成に寄与した。

地区館は、利用を反映した選書に加え、日常生活に役立つ資料を中心に、各館の利用者層に配慮した選書となり、貸し出し実績も増加した。準新刊図書の交換など、利用者のニーズに応える取り組みが行われ利用者の評価も高かった。

図書館協議会の議論を受け、次年度以降は蔵書構成の点検やマンガについての検討を行うなど、資料収集と提供について、利用者の意見も聞きながら議論をしていきたい。

図書館協議会の意見

【評価について】

1. 中央図書館部門別選定会による拠点館としての専門性を特化した選書、及び地区館 3 館の特色を生かした選書について評価できる。担当者が研究・努力しているのがわかる。
2. 中央図書館・地区館の資料収集方針は限られた予算の中で小説等を必要以上に購入せず、それぞれの重点テーマを設定しての選書は理にかなっている。
3. 地域の特色を出した選書はよい方向として評価できる。
4. 地区館の新刊図書のローテーションはよい取り組みである。
5. 地区館の生活に密着した図書の収集はよい。身近な図書館は実用的な側面が重要で、すぐに役立つ図書や利用率の高い図書をそろえることは有効である。
6. 図書館の役割に文化的な側面、過去を保存するところという役割は大事だと思う。本屋にないものを置く必要もある。
7. 中央図書館の就職仕事コーナーは評価できる。保護司の視点から見ると、夜間開館や個人利用できる学習席なども役立っている。
8. 科学や医療の分野では、研究成果に応じた見直しが必要であり、法改正により役立たなく図書もある。機に応じた更新が必要である。
9. 学校での調べ学習において、学校の資料だけでは足りないもので、団体貸し出しで利用できることは評価できる。
10. 音訳を行う際に、人名や地名を調べるが、各種辞書が完備されており、司書のレファレンスも役立っている。

- 1 1. 展示や利用者が本を選びやすい工夫があり、興味をひく発展するものがたくさんあり、評価できる。

【今後取り組んでほしいこと】

1. 図書館協議会委員には科学者の委員長など専門家がいる。選書に専門家の助言をもらうことも有効ではないか。
2. 除籍については、選書以上に難しい。専門家や市民の有識者のサポートを検討してもよいのではないか。
3. 地区館は医療の他にもスポーツ、芸術、料理、ファッションなど日常生活を直接的に豊かにする分野の書籍が増えれば良いと思う。
4. 中央図書館は行政資料の棚の並べ方、見せ方に工夫をしてほしい。また、中央図書館と市役所市政情報コーナーの資料に相違があるように感じるが、今後の整備を望みたい。
5. 地域資料は今後とも積極的に収集してほしい。さらに、地域資料の周辺部の資料、例えば、「湧水」に関する書籍、「庚申塚」についての書籍、「小麦」の歴史等、少し専門的な書籍を集めれば、それが、東久留米市立図書館の特徴づけになるのではないか。東久留米に住んでいた作家の本がわかるとよい。
6. 中央図書館はボランティア活動、NPO活動の拠点となることが考えられるのでそうした活動に関する書籍を重点的に購入してみてはいかがか。
7. 法律の分野で言えば、①定番の法律解釈と②身の回りの問題解決書に分けられる。①は法改正を見ながら基本書を入れ替える。②は、中央図書館で行っているようにレファレンス事例を見ながら充実させていくのが良い。
8. 子どもは本を選ぶのにとても時間がかかる。お母さんが近くで子どもを見守ることができるためにも、料理やファッションなどの書籍が子どもの本のコーナーの近くにあれば良いのではないか。
9. 図書館の利用者は高齢者が多く、地域の文化活動に参加している。高齢者に配慮した図書館サービスを望みたい。
10. 本市の収集方針や選書基準ではマンガが除外されている。マンガは知と情を両方持っている媒体である。評価してよいと思うので、選書についても見直してもよいのではないか。
11. 良い本は平凡である。ロングセラーの本を図書館は大事にしてほしい。